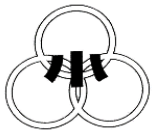


学校通信



# みわ道

～学校・家庭・地域は「共育」のパートナー～

令和2年7月9日発行  
 筑前町立三輪小学校  
 所在地：筑前町新町400  
 TEL：0946-22-2215  
 文責：校長 東野 正美

## 「あの日」を忘れない。

平成29年7月5日、朝倉・東峰を襲った九州北部豪雨。私は、その時、東峰村の東峰学園に勤めていました。三輪の子達にも同じ朝倉で起こったことを知っておいて欲しい、そして忘れて欲しくないという思いで、毎年7月5日（今年は4日）に全校放送で九州北部豪雨の話をし、亡くなった方への黙祷を行ってきました。

今から3年前の7月5日から6日にかけて、朝倉市や東峰村で猛烈な雨が降り続けました。九州で初めて「大雨特別警報」が発表されたのもこの大雨です。校長先生はその時、東峰村の東峰学園の校長先生でしたが、5日の夜は小学生・中学生と先生たち162名と近くから避難した人の13名が学校で、6日の夜は小学生・中学生と先生たち49名が家に帰ることができずに学校で寝泊まりをしました。

子ども達の中には、家が流されてその後仮設住宅での生活をしなくてはならない子もいました。

亡くなった方や、いまだに行方不明の方もいらっしゃると思います。

亡くなった方たちのご冥福を祈るとともに、九州北部豪雨で被災され未だに不自由な生活をしてある方々の復旧・復興を願って三輪小学校みんなで黙とうをささげます。

（令和2年7月4日 全校放送での話）

本校においても、6日は児童の引き渡し、そして7日は臨時休校と保護者の皆様にも大変ご心配をおかけしました。振り返ると、三輪小でも29年以降、毎年この時期に保護者の方への児童の引き渡しを行っています。

「災害は忘れた頃にやってくる」「想定外はない」など、私自身が九州北部豪雨に被災した時に感じていたことですが、改めてその言葉の重みを感じています。

今回の熊本豪雨、そして筑後川の氾濫をはじめ、各地で土砂崩れや浸水など大きな被害が発生しています。被災された方々にお見舞いを申し上げますと共に、1日も早い復旧を願っています。

## 受け継いだ命を大切に

本校では、6年生の総合的な学習の時間「幸せ未来プロジェクト」の一環として、大刀洗空襲について学んでいます。大刀洗空襲については「大刀洗空襲を語りつぐ会」の石川先生に、そして「頼田の森」については本校卒業生の祖母である廣瀬さんにお話していただきました。「戦争ほどおろかなものはない。せっかく生まれた命、ご先祖様から受け継いだ命を大切にしてほしい。」というメッセージもいただきました。



## ☆「みわ道」の子☆

7月4日（土）に、1年生及び希望の保護者を対象に、救命救急法講習会を行いました。今回は、感染症拡大防止の点から実技講習は行いませんでしたが、消防署の職員の方による丁寧な説明で人工呼吸法やAEDの使い方を学びました。また、水の事故防止や熱中症への対処、予防のポイント等も教えていただきました。

今年度から、PTAによる夏休みのプール開放は行いませんが、子どもを守るために1年生と希望の保護者を対象に学びの場を継続することとしています。

『みわ道』の「みまもる アイ (eye)」で子ども達を見守っていきます。☆



「あなたは119を、あなたはAEDを」とはっきり指示を。